

## 9月の授業記録をお送りいたします。

黄葉の候——ご父母各位におかれましては、いかがお過ごしでしょうか。

季節の移ろいというものは大変早いもの。吹き抜ける風は、日を追うごとに肌寒く感じられます。辺りの木々は少しずつ色づき始めつつあり、一段と深まる秋をひしと実感する今日この頃でございます。



さて、今月は所沢市内の多くの中学校で「定期試験」が行われることと存じます。個別指導会講師陣一同、在塾生のみなさんが1点でも良い点数を取れるように全力でバックアップしてまいります。定期試験一週間前より各校舎にて連日「定期試験対策」を実施しておりますので、ぜひ積極的に塾へ来室するようお子様にお声かけをお願い申し上げます。

また、下記にもございますように、**今月から来月にかけて、当塾では受験生のご父母を対象にした「個別面談」を行わせていただきます。**お忙しい中かとは存じますが、各位多数の出席をお待ち申し上げます。

### ■塾からのご案内■

#### ① 高校入試ガイダンスを実施いたしました。

10月14日(土)・15日(日)に、個別指導会の各校舎にて、高校受験生のご父母を対象にした「高校入試ガイダンス」を実施いたしました。各位多数のご参加、まことにありがとうございました。

#### ② 高校受験生のご父母を対象に、「個別面談」を実施します。

10月下旬から11月中旬にかけて、高校受験生のご父母を対象に「個別面談」を実施いたします。各種の詳細な資料をもとに最新の受験情報をお伝えしながら、お子様の志望校選定をサポートしてまいります。別紙にてご案内をお送りしますので、詳細はそちらをご覧ください。

#### ③ 中学生対象 土曜無料補講・定期試験対策 実施中。

原則毎週土曜日、各校舎で「土曜無料補講」を、また定期試験の1週間前より連日無料で「定期試験対策」を実施しております。とりわけ高校受験生にとっては大変重要な試験です。個別指導会の講師陣一同が全力でバックアップしていきますので、ぜひ積極的にお子様を来室させてください。

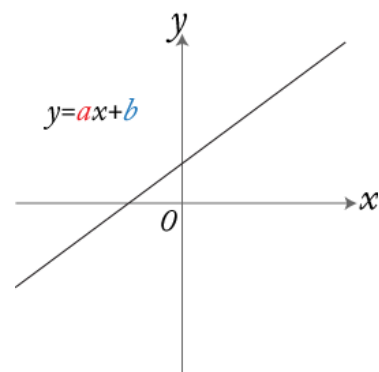
※ なお、それぞれの実施時間等は各校舎によって異なりますので、詳細はお子様のご通塾する各教室までお問い合わせください。

## 学習のアドバイス

今回のテーマは数学の「関数」です。「関数」に強くなるには「抽象的な概念を具体的にイメージする」ことが大切です。“具体的にイメージする”とは、日常的なものに置きかえるということです。「関数」を考えるときには「自動販売機」をイメージすると理解しやすくなります。

「自動販売機」には切符やジュースなどいろいろありますが、共通点は何でしょうか。それは“中の細かい仕組みを知らなくても問題ない”ということです。中がどうなっているかわからなくても「お金を入れると品物が出る」ということだけ知っていれば、とりあえず使えます。このように“入ってくるものに一定の働きをして出す装置”のことを“中身が見えない(=ブラック)箱(=ボックス)”という意味で「ブラックボックス」といいます。例を挙げてみましょう。

あるブラックボックスに「金」を入れたら「銀」が出てきました。「フタ」を入れたら「豚」が、「猿」を入れたら「ザル」が出てきました。この働きは簡単ですね。そうです。“濁点をつける”です。



今度は数字でやってみましょう。あるブラックボックスに「2」を入れたら「6」が出てきました。どんな働きでしょうか。これだけではわかりませんね。では「3」を入れてみましょう。すると「9」が出てきました。これで働きが“3倍する”だとわかりました。では、少し難しいブラックボックスを考えてみましょう。「2」を入れると「4」が出てきました。「3」を入れると「7」が出てきました。どんな働きでしょうか？ わかりませんか？ 「4」を入れてみましょう。すると「10」が出てきました。そうです。このブラックボックスの働きは“3倍して2をひく”でした。ここで、入れる数をx、出てくる数をyとして文字式にすると、“ $y = 3x - 2$ ”となります。これが「関数」の正体です。

このように日常的なものに置きかえて、さらにクイズ感覚でとらえることで親近感をもってください。そうすれば、勉強することが楽しくなるはずですよ。



### 平成30年度入試の展望 ②

前は県立高校の人気についてお話ししましたが、いかがでしたでしょうか。今回は私立高校の推薦基準についてお話しさせていただきます。

県立高校入試が一本化されたことに加え、入学金や授業料などに対して全国でもトップクラスの支援金制度があるため、埼玉の私立高校全体の入学者数は増加傾向にあります。それに伴って、推薦基準も年々厳しくなってきました。今年度もほとんどの学校の推薦基準が横ばいか、あるいは上昇しています。その概要はガイダンスおよび個別面談で説明いたしますが、詳細につきましては学校説明会および個別相談会に参加をして確認していただきたく思います。

推薦には内申による学校推薦と、偏差値による自己推薦がありますが、特にどちらが有利ということはありません。また、基準の数値はその学校の合格者の平均値に基づいて決められます。目安としては偏差値50以内申9科30ぐらいとお考えください。そして、特に注意していただきたい点が、前年度の入学者数です。私立高校は県立高校と違い合格者が必ずしも入学するわけではありませんので、入学者数が募集定員を大幅に上回ってしまった場合には、人数調整のため基準が厳しくなる可能性があります。少しでも不安や疑問をもたれた場合には、各教室長に必ず相談してください。



## 教室長日記

### 幸運とは常に準備を怠らない人のもとへ訪れる

今年も早いもので10月を迎えてしまいました。この個別指導会NEWSが皆様のお手元に届くころには、高校進学ガイダンスも終わり、各校舎での個別面談の実施期間中かと思えます。

中学三年生の皆さんにとって進路決定の重要な時期であります。特に、この時期は皆さん私立高校の推薦が取れるか取れないかで心中穏やかでない日々を過ごしていることでしょう。

迫りくる受験というプレッシャーから「倍率が高いから志望校を変更する」とか「合格判定が良くないから志望校を変更する」といった生徒さんも出てくるかと思えます。それなのに、公立高校出願後の倍率を見たとき、予想よりも志望校の倍率が低く、「志望校を変えなければよかった。」とか、「志望校を変えたから勉強のペース落としてしまった。」とかいう事もあるかもしれません。

しかし、一度緩めてしまった勉強の意欲・集中力は再びトップスピードに戻るまで、かなりの時間がかかってしまうでしょう。

「あのとき、あきらめずに勉強を続けていれば…」なんて後悔だけはして欲しくありません。

ここで皆さんに知っておいて欲しい言葉があります。それは、「**幸運とは常に準備を怠らない人のもとへ訪れる**」という言葉です。

この言葉が、本来どういうことを意味しているのか、という事よりも、生徒の皆さん一人一人が、この言葉をどう解釈するか考えてみて欲しいと思います。

「あの時、あきらめずに頑張ったよかった」と思えるように…最後まであきらめない姿勢で、ともに頑張りましょう。



(狭山ヶ丘校 石田)